

代表者名	小畑 元	所管部課名	建設交通部建設交通政策課
所在地	北秋田市脇神字藁岱21番地144	設立年月日	平成7年11月16日

**【沿革及び県の出資理由】**

空港ターミナルビルは公共交通を担う施設であり、高い公共性が求められることから、平成7年県を主体とする地方自治体及び経済界の出資のもと、第3セクター方式の株式会社として設立された。

**【出資者】(22年度当初)**

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	148,500	30.0
市町村	9	106,500	21.5
その他	19	240,000	48.5
計	29	495,000	100.0

**【事業】**

**主たる業務**

1. 空港ターミナルビル及び付帯施設の賃貸業
2. 広告、宣伝業
3. 煙草、郵便切手、収入印紙等の販売
4. 損害保険代理業等役務提供業務

**事業実績**

(百万円、人)

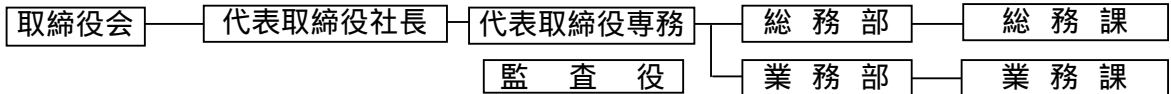
事業名等	19年度	20年度	21年度
不動産事業	226	222	217
付帯事業	16	14	15
国内線搭乗者数	137,298	121,028	114,383

**21年度事業概要及び22年度事業計画・目標**

景気の後退や新型インフルエンザの発生による大幅な旅客減など、当社を取り巻く環境は厳しい状況だったが、一定の収益を確保することができた。22年度も空港利用促進の推進と健全な経営体質の確立を目指す。

**【組織】**

**運営機構**



**役員数 (H22.7.1現在) (人)**

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者	1	
内、県職員		
非常勤	7	2
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	8	2
内、県関係者	2	

**職員数 (H22.4.1現在) (人)**

正職員	3	正職員 平均年齢 45歳	正職員 平均勤続年数 13年
内、県退職者			
出向職員	1		
内、県職員			
臨時・嘱託	5	正職員平均年収 5,815千円	
内、県退職者			
計	9		
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数	1人
役員報酬支給対象者平均年齢	62歳
平均役員報酬額	6,000千円/年

**【財務】**

**損益状況 (21年度) (千円)**

	金額
経常収入 A	232,266
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	231,856
運用益収入	
その他	410
経常支出 B	201,747
人件費	44,657
その他	157,090
経常損益 C = A - B	30,519
経常外収入	
経常外支出・諸税	15,614
当期損益	14,905

**財務状況 (21年度末) (千円、%)**

	金額	構成比
流動資産	213,362	18.0
固定資産	975,104	82.0
繰延資産		
資産計	1,188,466	100.0
流動負債	89,722	7.5
短期借入金	57,352	4.8
固定負債	459,649	38.7
長期借入金	439,030	36.9
負債計	549,371	46.2
資本金	495,000	41.7
剰余金	144,095	12.1
純資産計	639,095	53.8
負債・純資産計	1,188,466	100.0

	(千円)
県の損失補償額	
県の債務保証額	

	(千円、%)		
退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	13,777	13,777	100.0%

**【県の財政支出】**

(千円)

	19年度	20年度	21年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高	100,776	79,144	57,512	空港ターミナルビルの建設(ふるさと融資)

1 主な経営指標

項目		単位	19年度	20年度	21年度	19-20増減	20-21増減
健全性	自己資本比率	%	47.51	51.08	53.77	3.57	2.69
	借入金依存率	%	47.80	45.31	41.77	2.49	3.54
	流動比率	%	170.71	215.41	237.80	44.70	22.39
収益性	剰余金(欠損金)	千円	112,400	129,190	144,095	16,790	14,905
	経常利益率	%	14.81	9.91	13.14	4.90	3.23
	総資本利益率	%	2.80	1.92	2.57	0.88	0.65
発展性	経常収入額	千円	241,708	236,411	232,266	5,297	4,145
効率性	総資本回転率		0.19	0.19	0.20	0.00	0.01
	職員1人当たり経常収入	千円	40,285	39,402	33,181	883	6,221
	人件費比率	%	18.41	18.70	19.23	0.29	0.53

2 経営目標の達成状況

経営目標			19年度	20年度	21年度	22年度
経営改善指標	経常利益額 (単位：千円)	目標	35,000	35,000	24,000	24,000
		実績	35,798	23,427	30,519	
経営改善指標	借入残高 (単位：千円)	目標	611,086	553,734	496,382	439,030
		実績	611,086	553,734	496,382	
事業成果指標	営業収入 (単位：千円)	目標	251,000	251,000	240,000	240,000
		実績	241,708	236,411	232,266	
事業成果指標	乗降客数 (単位：人)	目標	150,000	150,000	130,000	126,000
		実績	137,298	121,028	114,383	
顧客満足度	顧客満足度指数	目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

利用客の大幅な減少を見たが、収入の減少を最少に抑えたとともに経費の削減に取り組んだ結果、一定の利益確保ができた。

航空会社や空港を取り巻く環境は依然厳しい状況だが、利用客の12万人台確保と、一層の営業収入増加を目指す。

<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>

一層のお客様ニーズの取り込みを計り、施設サービスに反映させる。

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当年度の利用旅客数は11万人と過去最低水準に落ち込み、経常収入は4百万円減少となったが、当年度は常勤役員の交代がなく、減価償却費も低減したことから、経常支出が11百万円減少したため、経常利益は7百万円改善となった。</li> <li>・利用者数の低迷から路線の休廃止も予想されるため、今後、事業の採算性が悪化することも考慮に入れた取組が必要である。関係諸団体との連携を図り、利用者拡大へ向けた活動を行うと共に、施設の修繕・改善策を講じることが望まれる。</li> </ul>	